

「瀬戸内資源循環プロジェクト」
けん引し、循環型社会構築を目指す

(株)オガワエコノス
社長

おがわ たか ひろ

小川貴広さん
(40)



「サーキュラーエコノミー福山」(福山市箕沖町)

▷(株)オガワエコノス=府中市高木町502-10、電0570・002・998、<https://www.o-econos.com/>

▷小川貴広=1986年、府中市生まれ。盈進高校では野球部に所属し、関東の大学へ進学。その後はスタートアップ企業を立ち上げるなど都内で活躍。2014年に帰郷。仙台工場で勤務、17年から本社へ復帰。18年から常務取締役、24年に社長に就任し、25年から小川勲会長と共同代表に。

府中市を中心に、広島県東部で廃棄物の収集運搬、中間処理、浄化槽の点検などを営み、府中市のほか福山市、岡山・宮城県で工場を運営。2017年に広島市の(有)ダイイチ企業を傘下に加えた。25年より、使用済みプラスチック食品容器の回収、再資源化、再生原料化、成形、販売に携わる6社と連携し、使用済みプラスチック食品容器を再生・活用する「瀬戸内資源循環プロジェクト」をけん引するなど、従来の「廃棄物処理業」という枠組みを超え、持続可能な循環型社会(サーキュラーエコノミー)の実現に向けた先進的な取り組みに動んでいる。

「瀬戸内資源循環プロジェクトとは

「単にゴミを処分するのではなく『資源として循環させる』体制を構築する活動です。これまで水平リサイクルが難しかった色柄発砲容器(PSF)や透明容器(OPC)を含む使用済みプラスチック容器を対象に、弊社が回収や選別・加工、(株)

CFP(笠岡市)が熱分解による油化、旭化成アドバンス(株)が熱分解油のオフテイク石油精製接続、太陽石油(株)(今治市)が熱分解油からの分留・基礎化学製品製造、旭化成(株)(倉敷市)が基礎化学品からスチレンモノマー製造・供給、PSジャパン(株)(倉敷市)がポリスチレンなどの製造・供給、シーピー化成(株)(井原市)が再生樹脂を用いた食品容器の製造、を各々担当してループを構築し、環境負荷低減に貢献します」

「ベトナムにも進出されましたね

「25年12月に現地法人を設立し、環境機器の製造代行(アウトソーシング)業務や現地日系企業のリサイクル支援を行っています。ベトナムは海洋プラスチック問題では世界第4位に入る国であり、脆弱な廃棄物管理に対して、弊社が培ってきたノウハウは資源の分別処理やベトナムの子どもたちの環境学習に役立てられると思います。将来的な現地工場の開設も視野に入れ、アジアに広がるグローバル

な資源循環ネットワークの構築に挑んでいきます」
「人的資本経営にも力を入れておられますが

「自然にやさしい、人にやさしい」を企業理念とし、ウェルビーイングの追求も会社の柱と考えています。人は「人財」であり、人的資本経営ひろしまアワードで『優良企業』に選出されるなど、社員の価値を最大限に引き出す環境づくりを行っています」

「今後について

「18年に府中JICに入会しましたが、事業を通して国際関係にも明るくなりました。風を読む力、森を見つめる力の研鑽にも役立ちました」
「父が事業を受け継いだのが1997年で、来年は創業75周年を迎えます。父はリサイクルに業容を拡充させ、『SDGs』よりも早くから環境保全活動に注力してきました。私は父の掲げた行動指針『Think Globally, Act Locally』を発展させ、弊社のノウハウを世界各地に広げ、第3創業期として自分のスタイルを追求していきたいと思っています」

「瀬戸内資源循環プロジェクト」始動のお知らせ
～食品容器を再び食品容器へ、企業連携による新たなリサイクルモデル～

P Sジャパン株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：顕谷 一平）は、使用済みプラスチック食品容器の回収、再資源化、再生原料化、成形および販売に携わる6社と連携し、スーパーマーケットの店頭で回収した使用済みプラスチック食品容器をケミカルリサイクルにより再資源化し、再びプラスチック食品容器として再生・活用する「瀬戸内資源循環プロジェクト」を開始することをお知らせします。

本プロジェクトでは、これまで水平リサイクルが困難とされてきた色柄発泡容器（PSP）や透明容器（OPS）を含む使用済みプラスチック食品容器を対象に、回収から高度選別、ケミカルリサイクル（熱分解による油化）、石油精製、スチレンモノマー化、さらにケミカルリサイクル由来ポリスチレン樹脂（マスバランス方式）の製造と成形品の販売までを一貫して行う水平リサイクルループを構築します。これにより、持続可能な循環型社会の構築を目指します。

また本プロジェクトは、瀬戸内エリアで使用済みプラスチック食品容器を回収・選別し、油化ケミカルリサイクルにより再資源化した原料を活用する地域循環型リサイクル・原料調達スキームであり、再商品化された製品は、地域を越えて全国へ展開され、環境負荷低減に貢献します。



✓ **連携企業各社の役割**

株式会社オガワエコノス（事業拠点：広島県福山市）：使用済み容器の回収・高度選別・加工
株式会社CFP（事業拠点：岡山県笠岡市）：熱分解による油化
旭化成アドバンス株式会社：熱分解油のオフテイク石油精製接続 ※商社行為により事業拠点なし
太陽石油株式会社（事業拠点：愛媛県今治市）：熱分解油からの分留・基礎化学品製造
旭化成株式会社（事業拠点：岡山県倉敷市）：基礎化学品からスチレンモノマー製造・供給
PSジャパン株式会社（事業拠点：岡山県倉敷市）：ポリスチレンなどの製造・供給
シーピー化成株式会社（事業拠点：岡山県井原市）：再生樹脂を用いた食品容器の製造

✓ **今後の展望**

本スキームでは、シーピー化成様を中心に、2026年までにご賛同いただけるスーパーマーケット様と協議を進め、同年中には岡山・広島エリアの店舗において使用済み容器の回収を開始する予定です。2027年には、再生プラスチックを使用した製品の販売開始を目指していきます。

✓ **各社代表コメント（共同メッセージ）**

「本プロジェクトは、企業の垣根を越えた協業により、地域に根差した資源循環の実現を目指す取り組みです。私たちは、日々使用されるプラスチック容器を通じ、サステナブルな社会の実現に向けた取り組みを進め、循環型社会の構築に向けて引き続き挑戦し、持続可能な未来の実現に貢献したいと考えています。」

<ご参考>

PSジャパン株式会社の概要

本社：東京都文京区小石川一丁目4-1
社長：顕谷 一平
株主：旭化成株式会社 62.07%、出光興産株式会社 37.93%
資本金：50億円
売上高：約680億円（2024年度）

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

PSジャパン株式会社 企画管理部、サステナビリティ推進部

TEL：03-5689-6543